

平成30年(2018年)3月2日

保護者の皆様

光風台小学校校長 増田 ゆか

学校教育自己診断の結果報告について

1. はじめに

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年12月に実施いたしました「平成29年度学校教育自己診断(保護者用)」の集計結果と本校の分析結果をお知らせいたします。なお、自由記述欄にご意見をいただいた方については、必要に応じて校長より個別に連絡をさせていただき、面談等を実施させていただきました。皆様のアンケート協力に感謝申し上げます。

同時に行った児童用・教職員用のアンケート結果については公表いたしません。その分析結果は来年度の学校教育並びに学校運営に生かしていきたいと存じます。

なお本アンケートの結果につきましては、学校協議会に報告し、委員各位のご意見ご提言をいただいております。

2. 光風台小学校「学校教育自己診断」結果について

(1) 保護者アンケート回収状況

配布 224件(児童数) 回収 210件 回収率 93.8%

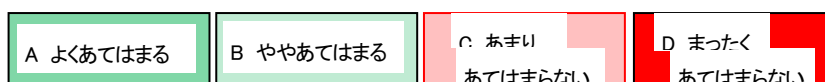
(2) 集計の見方 「A・B・C・D」の4段階での回答。

- ・「肯定的回答」 A:よくあてはまる、B:ややあてはまる
- ・「そうでない」 C:あまりあてはまらない、D:まったくあてはまらない

3. 結果報告

(1) 教育活動に関すること

①子どもに関すること



No.	質問内容	学年	回答割合 (%)			
			A	B	C	D
1	子どもは、学校生活が楽しいと言っている。	H27	46	46	7	1
		H28	45	49	4	2
		H29	50	42	9	0
2	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	H27	24	63	11	2
		H28	29	58	12	1
		H29	30	60	9	1
3	子どもは学校の英語活動に興味を持っている。	H27	43	44	10	3
		H28	50	37	11	1
		H29	28	50	17	4
4	子どもは落ち着いて人の話をしっかり聞くことができる。	H27	25	54	19	2
		H28	19	57	21	3
		H29	30	50	18	2

No.1 (学校生活が楽しい) の肯定的な回答の割合 (A+B) は、今年度 92%で過去 3 年間と同程度の高い評価です。
 No.2 (授業が分かりやすい) の肯定的な回答の割合は90%で、「よくあてはまる」の割合が若干増加傾向にあります。一方、No.3 (英語活動に興味をもっている) の肯定的な回答の割合は今年度 78%と、過去 2 年より減少しており、外国語 (英語) 活動への興味・関心の喚起に課題があると言えます。今年度はアクティブ・スクール事業研究指定を受け、授業改善に取り組んできました。教師の教え込み中心の授業ではなく、何をどう学ぶのか、何ができるようになるのかを児童が理解し、意欲的に課題に取り組む授業をいかに作るかを、年三回の研究授業、三回の公開授業や実態テストの分析などを通じて協議しながら進めてきました。児童にとって「分かりやすい」授業を今後研究していきます。外国語については、次期学習指導要領への移行措置で3年～6年は次年度から授業時間が増えます。外国語を学ぶ意義や楽しさが伝わる授業の工夫をしていきたいと思います。

No.4 (落ち着いて話をしっかり聞くことができる) は今年度の肯定的評価の割合が 80%で比較的高い方ですが、20%の否定的評価は見逃ごせない課題の一つといえます。「聞く力」は学習規律の定着が前提となりますので、保護者の協力を得ながら取り組んでいく必要があります。

保護者・地域の方には、学校公開などで普段の学習の様子について参観していただく機会を設定しておりますが、参観以外でも授業見学に来ていただけます。今後も様々な機会を捉えて、保護者の方々の協力をいただきながら、楽しい学校になるように取り組みを進めていきたいです。

②教職員に関すること

5	先生は、子どものことについて相談にのってくれる。	H27	36	49	13	2
		H28	38	49	14	3
		H29	41	49	9	1
6	先生は、子どもを理解してくれている。	H27	34	49	14	3
		H28	34	49	14	3
		H29	37	53	9	1

学校での一日を担当とともに過ごす小学校では教職員との信頼関係は特に重要です。No.5 (先生は相談にのってくれる)、No.6 (先生は、子どもを理解してくれている) は、本年度いずれも肯定的な評価の割合が90%で、増加しました。児童は友達関係や学習、家での出来事など、さまざまな思いや悩みを抱えています。ありのままの児童の姿を受けとめ、児童とじっくり話し合うこと、保護者や教職員との連携を深めるなど、安心して児童が学校に来られるよう、子ども理解研修や、SSW (スクールソーシャルワーカー) やSC (スクールカウンセラー)、保幼小・小小・小中連携を行い、教職員の子ども理解の力量を高めていきたいと考えています。

③保護者・地域との連携

10	地域の方々の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる。	H27	40	56	4	0
		H28	39	52	9	1
		H29	44	53	3	0

11	学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている。	H27	25	67	8	0
		H28	18	60	19	3
		H29	22	68	10	0
13	学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	H27	34	64	0	0
		H28	46	52	0	0
		H29	43	55	2	2

光風台小の特徴の一つに90名近いサポート・ボランティアさんや保護者の活躍があります。No.10（地域の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる）は、本年度の肯定的評価の割合が97%と高く、今後ますます保護者・地域の皆様には、学校での児童の活動に積極的にご参加いただき、ともに教育活動を推進していきたいと思っております。

No.11（学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている）の肯定的評価の割合は、本年度90%でした。今後も保護者アンケートだけでなく、PTA活動や学校公開などさまざまな機会に保護者・地域の皆様の声や思いを傾聴し、いただいたご意見を学校運営に反映させていきたいと考えます。

No.13（学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている）は、本年度98%が肯定的な評価でした。開かれた学校づくりの取り組み（学校だよりの地域回覧・ホームページによる情報公開・学校公開日の設定など）が定着した評価ですが、今後も継続して行っていきます。

(2) 学校経営に関すること

①学校からの情報発信について

14	学校は地震や台風など緊急の場合の対応について、適切に対応している。	H27	41	57	0	0
		H28	56	42	1	1
		H29	25	59	13	3
15	学校の施設・設備は学習環境・生活環境面で満足できる。	H27	13	50	29	8
		H28	11	48	34	7
		H29	10	48	35	7
16	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	H27	27	66	7	0
		H28	28	64	6	2
		H29	23	65	11	0
17	学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・ホームページ等、学校の情報を積極的に伝えている。	H27	27	66	7	0
		H28	35	55	9	1
		H29	34	57	8	2

情報発信は学校運営として大切にしなければなりません。

No.14（緊急の場合の対応について適切に対応している）は、本年度84%で昨年までより肯定的評価の割合が減少しました。昨年の台風の際、緊急メールが送達できない想定外のトラブルがあり、PTA 役員さんや保護者の方のご協力ですまじきを得ましたが、さまざまな場合を想定した対応マニュアルの必要性を痛感しました。緊急時の対応カードなども含めてPTA 運営委員会にもご意見をいただき、適切に対応できるよう心がけていきたいと考えています。

No.16（保護者に出す文書・事務連絡等は適切である）も、本年度88%で、No.14と同様に肯定的評価の割合が減少しました。No.17（学校の情報を積極的に伝えている）は本年度91%で昨年と同程度の割合でした。

文書や事務連絡については、配付時期が遅い時があった、保護者参加の行事かどうか分かりにくかったなどのご意見をいただきました。迅速に、かつ分かりやすく確実にお伝えできるよう努めたいと思います。

No.15（施設・設備は満足できる）は、本年度58%で3年間とも肯定的評価が低い項目です。受水槽ポンプ室の屋根の破損など修復を急いでいるものもありますが、施設は築40年を経過し、あちこちに老朽化と経年劣化が目立ち、それが低い評価につながっています。施設改善には予算等が伴うため、早期の改善が困難ですが、関係機関に今後一層働きかけていきます。

②教育内容に関すること

7	少人数授業・コース別授業・交換授業など指導のあり方に工夫している※3年生以上の保護者回答	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>17</td> <td>71</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>21</td> <td>59</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>32</td> <td>59</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H27	17	71	9	3	H28	21	59	12	8	H29	32	59	7	1
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																		
H27	17	71	9	3																		
H28	21	59	12	8																		
H29	32	59	7	1																		
8	通知表は、子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>14</td> <td>66</td> <td>17</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>15</td> <td>68</td> <td>14</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>17</td> <td>71</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H27	14	66	17	3	H28	15	68	14	4	H29	17	71	9	3
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																		
H27	14	66	17	3																		
H28	15	68	14	4																		
H29	17	71	9	3																		
9	学校では教育活動を通して心の教育(人権教育)が尊重されている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>21</td> <td>67</td> <td>11</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>20</td> <td>59</td> <td>21</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>24</td> <td>68</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H27	21	67	11	1	H28	20	59	21	0	H29	24	68	8	0
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																		
H27	21	67	11	1																		
H28	20	59	21	0																		
H29	24	68	8	0																		
12	学校はいじめ防止体罰のない学校づくりの取組みを、子どもの思いを受け止めて推進している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>22</td> <td>67</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>13</td> <td>68</td> <td>17</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>20</td> <td>68</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H27	22	67	10	1	H28	13	68	17	2	H29	20	68	10	1
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																		
H27	22	67	10	1																		
H28	13	68	17	2																		
H29	20	68	10	1																		

No.7（指導の在り方に工夫している）は、本年度91%で肯定的評価の割合が増加しました。今年度は、3～6年生で、国語・算数を中心に、少人数授業やTT授業、コース別、課題別授業を実施してきました。先述したアクティブ・スクール事業研究の中で、論理力や表現力を育成する活用問題の工夫や、良いノートの掲示による紹介、教職員向けの授業改善をめざした通信の発行、保護者向け学級通信での授業での取り組み内容の紹介などに取り組んできた成果が評価につながっていると考えています。今後も授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

No.8（通知表は子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている）は、本年度88%で肯定的評価の割合は増加しています。次年度から始まる道徳の評価や、英語の評価の示し方など、今後も保護者の方に

分かりやすい通知表になるよう、検討していきます。

No.9（教育活動を通して心の教育が尊重されている）は、本年度92%で、平成28年度81%・27年度89%と比較すると肯定的評価の割合は高いですが、8%の否定的評価を真摯に受け止めなければなりません。同様に、No.12（学校はいじめ防止等の取り組みを推進している）は本年度88%で、いじめの取り組みが不十分だと考えられている方が10%強はいらっしゃるという事実を目を向ける必要があります。「自分も他の人も大切にし、人とつながる児童」の育成は、本校の教育課題であり、本校の教育重点目標です。毎学期「いじめアンケート」を児童に実施し、いじめ等の実態把握に努め、個別指導・ケース会議を開くなど個々の子どもの問題に迅速に対応できるように努めておりますが、この結果を真摯に受け止め、取り組みを見直していきたいと考えています。

(3) 家庭に関すること

18	家庭では、子どもに基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)がつくように努めている。	H27	38	56	6	0
		H28	41	54	5	0
		H29	39	54	8	0
19	家庭では毎日あいさつを交わしている。	H27	66	32	0	0
		H28	71	27	1	1
		H29	68	30	1	0
20	家庭では学校のことについて子どもと話す時間をもっている。	H27	50	47	0	0
		H28	52	44	3	3
		H29	47	48	4	1

No.18（子どもに基本的な生活習慣がつくように努めている）は、本年度94%、No.19（家族は毎日あいさつを交わしている）は、本年度98%、No.20（学校のことについて子どもと話す時間をもっている）は、本年度95%でした。いずれも高い割合を示しており、ご家庭での教育力がよくわかる結果でした。

ただ、挨拶については、PTAの立ち番の方や登校の際の見守り隊の方への挨拶ができていない児童やお礼の言葉が言えていない児童もおりますので、引き続き指導していきたいと考えています。

SNSの発達により、対面のコミュニケーションの減少が指摘される中、じかに触れ合うことの大切さを実感しております。これからもお子様と話す時間をできるだけ作っていただき、ふれあいを大切にして、あたたかく見守っていただきたいと思います。

4 おわりに

今年度の結果は、概ね肯定的な割合が多く、学校としての取り組みが、一定地域・保護者の皆様方に認めていただけている証左と考えますが、一方「よくあてはまる」と回答いただけた割合が少ない項目もあり、まだまだ十分とはいえません。特に緊急対応や情報発信の面での課題が明らかになりました。開かれた学校をめざし、安全に配慮しながら保護者や地域の皆様に必要な情報をいかに迅速に的確にお伝えできるかについて、検討を重ね改善していきたいと考えております。

本校は豊かな自然にあふれた広い敷地に学校田や畑を有し、少人数学習や調べ学習を行える教室も多くある恵まれた環境にあります。今年度は学力向上に向け、少人数指導や教材研究など、いっそう授業改善に取り組みました。アクティブ・ラーニングを実現するためには、「間違ってもいいから自分の考えを伝えたい」と思える、信頼し合える集団づくりが前提にあります。学級活動と授業を切り離すのではなく、授業を通して、人の話が聞ける児童、自分の考えが言える児童、人を思いやれる児童の育成をめざしました。個別の配慮や課題にも取り組み、放課後学習等も行いました。論理的な思考力や判断力、表現力の育成をいかに仕組み、評価するのか、児童の自己評価力をいかに育成するかという学習評価の課題については今後の検討課題とし、保護者のみなさまにも分かりやすく伝えられるよう通知表を検討していきます。

経験の浅い教員が増え、かつてのように経験豊富な教員の背中を見ながら資質を高めていくという環境ではありません。その分、教員どうして話し合い、うまくいった好事例を紹介しあう場面が多く見られるようになりました。ICT の活用、ノート指導などの授業の工夫から学級経営で大切にすべきことなど、日々悩みながら取り組んでいるところです。とくに授業規律などの課題に正対した取り組みを組織的に一層進めていきたいと考えています。

本年度の重点目標である「自分も他の人も大切にし、人とつながる児童の育成」、「自ら考え、伝え合いながら、学びを深める児童の育成」の具現化するため、保護者・地域の皆様方のご意見を真摯に受け止め、日々の教育活動を進めていく所存です。

診断項目へのアンケート、また、たくさんの貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げますと共に、今度もどうぞ忌憚ないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。